

～～第8429回～～

阿寺七滝（三河）

～H30. 5. 6～

2年連続、雨で行けずにいましたが3回目でやっと行けた。阿寺七滝は、「国の名勝・天然記念物」であり、「日本の滝百選」の一つでもある。七か所の滝でなく、60mほどの落差を一気に七段状に落ちる滝で、滝の下一か所にいて、全体を見ることが出来る。ここへは800m手前の阿寺七滝入口までは、自家用車や平日であれば町内のコミュニティーバスを利用して入れるが、今回は、無人の三河大野駅から山を2つ超える片道5.4kmの東海自然歩道を歩いて往復した。駅(標高80m)から、正面の宇連川、大野町を横切り山間部に入り、山伏峠(標高170m)を越えて睦平地区(標高120m)に出て、再び山間に入り、鉛山峠(標高370m)を越えて、阿寺七滝(標高260m)に至る。途中、区間の距離と所要時間が示された標識がたくさんあるので迷うことはない。ほとんど沢沿いの樹林の中なので涼しく、未熟なウグイスの鳴き声を聞きながら、安心して歩いて来た。登山道脇には、ホトトギス、イワタバコの植物が目立ち、睦平から鉛山峠に向かう途中、不つ田滝の手前に黄色の花を見つけたので行って見た。農家の人が植えたらしく黄色のほかに、白、赤、茶など数種類、満開のエビネランが咲いていた。今回はJRの休日乗り放題切符を利用したので、500円ほど安上がり、それでビールを飲み、飲めない人は一眠りして、往復7時間ほどの列車の旅も楽しんだ。

参加者：12名（静岡北1、静岡西1、焼津10）

天候：晴

地図：三河大野・熊

コースタイム：焼津駅 606＝三河大野駅 930-45…山伏峠 1002…睦平 1015…鉛山峠 1113…阿寺七滝 1145-1230…鉛山峠 1310…睦平 1400…山伏峠 1412…三河大野駅 1430-1501＝焼津駅 1808

記録：焼津支部 伏見